

Milano ~ Torino

Rho - Torino (174 km)

増田成幸が最古のクラシックレースで逃げに乗る！ナホム・ゼライが 20位でフィニッシュ！



レース期間：3月19日

距離：174 km

UCIカテゴリー：1.Pro

参加チーム：19チーム (WT 6チーム、PT 11チーム、CT 2チーム)

出走選手数：133名

JCL TEAM UKYOメンバー：アレッシェンドロ・ファンチェル、マルク・カベド、石橋学、増田成幸、鎌田晃輝、小林海、ナホム・ゼライ

JCL TEAM UKYO監督：アルベルト・ボルピ

レース公式サイト：<https://www.milanotorino.it/>

JCL TEAM UKYO公式サイト：<https://jcl-team-ukyo.jp/>

Photo：<https://x.gd/9PvKF>



2025年のミラノ～トリノは、非常に厳しいフィニッシュが設定された。3年連続でRhoからスタートし、ポー平原を横断してトリノへ向かう174kmのコース。レースの勝負所は、終盤に2回登るスーペルガの登りだった。

最初の150kmは完全な平坦基調で、マジエンタ、ヴェルチェッリ、カスタンヨーロを通過。

- 最初のスーペルガ登坂(5km・平均勾配9.1%・最大14%)では、頂上600m手前で右折し、リヴオドラへの下りへ。
- 2回目のスーペルガ登坂が最終決戦となり、ここで勝者が決まることとなる。

JCL TEAM UKYOの戦略は、逃げに乗ること、エースのナホーム・ゼライとアレッシェンドロ・ファンチェルを守ることだった。

序盤のアタック合戦が激しく、最初の25kmはすべての逃げが吸収される展開。しかし、その後5名の逃げが決まり、JCL TEAM UKYOの増田成幸がその中に入ることに成功！

逃げグループ(5名)

- 増田成幸(JCL Team Ukyo)
- ヨナス・ルッチ(EF Education – EasyPost)
- クリスティアン・スバラリ(Q36.5 Pro Cycling)
- ダビデ・バルダッチーニ(Corrattec – Vini Fantini)
- ダビデ・バイス(EOLO-Kometa)

この5名は最大3分38秒のリードを獲得。しかし、Tudor Pro CyclingとUAE Team Emirates – XRGがメイン集団をコントロールし始め、差は縮まる

この逃げはスーペルガの登りまで続くものの、登り始めてすぐに逃げ集団は崩壊。増田も遅れてしまう。

最初のスーペルガ登坂の頂上で、ルッチが単独でダウンヒルへ突入。

メイン集団でも登りに入ってからペースアップがあり、30~40名ほどに絞られ、チームからはゼライがこの集団に食らいつく。

ルッチの逃げは2回目のスーペルガの登り口まで続くも吸収される。

決定的な動きは、残り3km地点で発生。

UAE Team Emirates – XRGのアダム・イエーツがアタックし、7名が反応。ナホム・ゼライはこのアタックには乗れなかったが、追走グループで粘る。

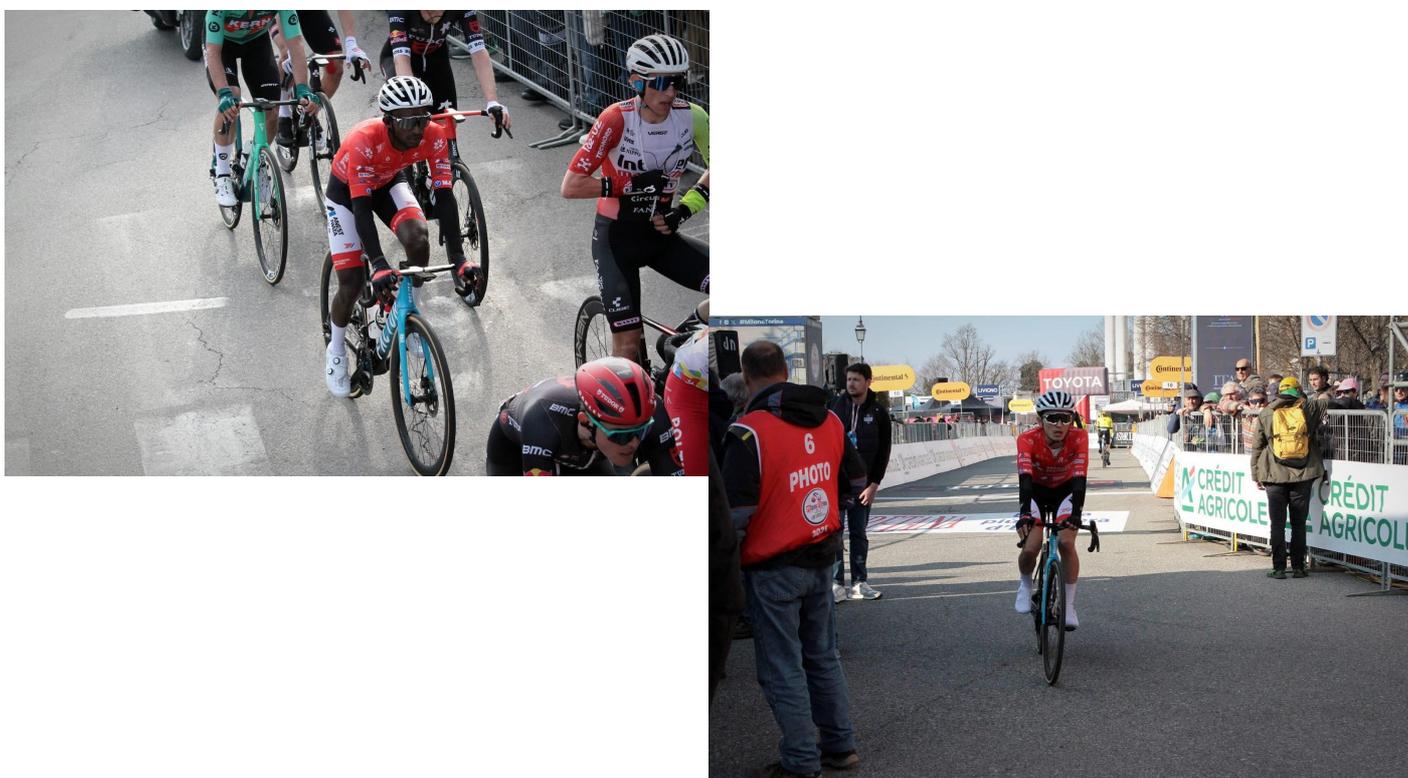
残り1km、デル・トロ(UAE)が攻撃を開始。これに反応できたのは、トビアス・ハランド・ヨハネセン(Uno-X Mobility)とベン・トゥレット(Visma | Lease a Bike)の2人のみ。

最後の200mでデル・トロがスプリントし、単独優勝！

JCL TEAM UKYOのナホム・ゼライは、20位でフィニッシュ！

この結果は、コンチネンタルチーム所属選手として最上位の成績となった。

また、増田成幸は1日中逃げに乗ったものの、しっかりと完走した。



MILANO-TORINO 2025

1. Isaac Del Toro (UAE Team Emirates – XRG) in 3h56'49"
2. Ben Tulett (Visma | Lease a Bike) +1"
3. Tobias Halland Johannessen (Uno-X Mobility) +9"
20. Nahom Zeray (JCL Team Ukyo) +1'08"

JCL TEAM UKYO ならびにこのレポートに関するお問い合わせ: KATAYAMA PLANNING株式会社
田村 遼 (広報) Mail: tamura@kplanning.co.jp TEL: 090-44551-4021
増田 深雪 (広報) Mail: m-masuda@k-planning.co.jp

